

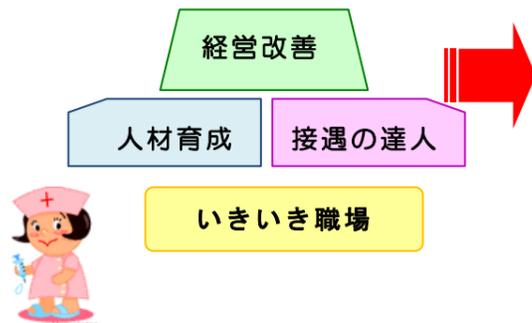
桜の季節になりました。桜の花をみると、なぜか心が和むのは私だけでしょうか……。桜のつぼみに春を感じて、また新たな気持ちであなた色の春を咲かせませんか。さあ、新年度です。今年の新人さんはどんなつぼみでしょう……。とても楽しみです。みんなで愛情をいっぱい注いで、ステキな花を咲かせましょうね！

「22年度看護部方針」

看護部長 野中 時代

看護部の理念

おもてなしの心と看護の心で地域の人々を大切に、安全で安心できる看護を提供します



接遇の達人

さわやかな挨拶と魅力的な笑顔の看護者を目指す

人材育成

後輩を丁寧にやさしく育てる

経営改善

削減、増収を一人ひとりが意識して業務改善を目指す

今年も目標に向かって登りますよ！

いきいき職場を土台に全員が接遇の達人を心掛け、人材育成と経営改善に取り組みます。本年度も新人 12 名を迎えることができます。平成 22 年 4 月より新人看護職員研修制度が義務化され、予算が計上されます。当院の新人看護師はローテーション研修後に、新人自らが配属場所を選択します。先輩達は自職場を選んでもらおうと指導計画を含め、職場のよい環境づくりと PR に必死です。そしてこの取り組みは職場の活性化へと繋がっています。反面、現場では人手不足となり、先輩看護師は大変ですが、新人看護師がいち早く現場になれ、臨床って楽しいな、常滑市民病院を選んでよかったといわれるように優しく、忍耐強く後輩を育てて欲しいと思います。また一人ひとりがムダをなくすように心掛け、看護師でもできる経営改善を目指します。今年度より感染管理体制に診療報酬が認められるため、医療安全環境室に感染認定看護師が常駐します。今後も 7:1 の看護体制を持続し、笑顔で挨拶が飛び交う元気な看護部をみんなで作り上げましょう。

研修のお知らせ

4月1～9日 新人研修

4月12日～5月28日 新人ローテーション研修

4月9日 卒後4年 静脈注射 輸液ポンプ

4月9日 卒 4.5 年 ローテーション研修打ち合わせ会

退職者

東 4 階 酒井真里さん

研修医 岩田祐樹先生

その他

看護だよりの発行が来月より隔月となります。次号は新職員特集です。

「新年度を迎えて」

教育師長 久米 淳子

昨年7月9日、第171回通常国会にて、「保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の一部を改正する法律案」が、可決・成立した。同法は2010年4月より施行される。今回の改正のポイントは3点あるが、臨床に大きく影響してくるのは、「卒後臨床研修の努力義務化」である。この制度の背景には、新人看護職員の1年以内の離職率の高さ(全国平均9.2%)がある。では自院の新人看護職員の離職率はどうか？ここ数年来0%であり、看護師離職率も5%で全国平均(12.6%)よりもかなり低い。これは何を意味しているか？

「ボロは着てても心は錦〜♪」

そんな歌を思い出す。相手を気遣える職場環境をスタッフひとりひとりが築いてくれているのだと感じている。

またまた新人看護師がやってくる。人を育てるのは手間も暇も金もかかる。でもこの出会いがなぜか嬉しい。常滑市民病院看護部の新人看護職員研修の教育理念は「全職員が新人看護職員に関心を持ち、皆で育て、支えあい、共に成長する」である。今年度も集合教育の後、ローテーション研修を実施する。ローテーション終了後、新人看護師達に「希望の職場アンケート」を取り、配属部署を決定していく。また今年度末には、新企画「後期ローテーション研修」も予定している。これは厚生労働省の示す臨床実践能力の到達目標103項目への不足部分を補う研修目的で企画した。

最後に、私が教育担当者(教育委員)に繰り返している言葉を看護部の皆さんに！

「新人が働きたいと思う職場は、教育体系が整い、暖かな人間関係が構築されている職場です。教育体系づくり、人間関係づくりは、職場を構成する全てのひとの協力が必要です。」
「あなたもわたしも一人ひとりがみんな主役！」

さて、今年度も明るく元気にちょっとだけ頑張りましょう♪

「22年度 感染に対する取り組みについて」

感染管理認定看護師 牧野みゆき

2010年4月より、医療安全環境管理室の配属になりました。感染対策の要となる、感染対策チーム(ICT)やリンクナースと協力しながら院内の全部署に対し、組織横断的に活動を行なっていきたく思います。タイムリーに活動できることが感染対策上非常に有効であり、やりがいを持って感染対策活動に取り組んでいきたく思います。感染管理には、患者様はもちろん家族や面会者、院内に従事する全ての人を感染から守ることが求められます。そのための具体的な活動として、サーベイランス・感染管理教育・コンサルテーション・院内ラウンドなどがあります。微生物検査室との連携で、当院のアンチバイオグラムを考慮した抗菌薬使用にも目を向けていこうと思います。感染対策の重要性を職員ひとりひとりが理解し、組織全体として取り組むことが出来る感染対策を目指して活動していきたく考えています。細菌やウイルスは肉眼的には見ることはできませんが、常滑市民病院の従事者にはおしゃべりするMRSAが見えるぐらい、感染に興味を持ってもらえるようにしたいと思います。

編集後記：4月から広報委員は3階満永さん、5階富田さんを新メンバーに迎えました。またこれまでとは違った感じの楽しいお知らせが出来ると思います。皆さんからのご意見ご感想お待ちしております。(渡邊)